



たかっき

はたっき

令和6年度
第1回高畠町景況調査結果
(令和6年6月1日基準)

高畠町商工観光課



【令和6年3～5月期景況調査について】

1.調査概要及び回収結果

(1)調査の目的

町内事業者の経済や産業の動向を把握し、今後の商工振興施策を検討するため。

(2)実施主体

高畠町・高畠町商工会

(3)調査設計

- ①標本数 : 町内事業所(個人事業主も含む)175事業所
- ②調査方法 : 調査票の配布(FAX、メール及び郵送)、回収(FAX及びメール)
- ③調査期間 : 令和6年6月3日～令和6年7月1日
- ④基準日 : 令和6年6月1日

(4)回収結果

116事業所(回収率66.3%) ※ 前回:64.6%

(5)採用指標

「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用。

実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

2.景気動向(概要)

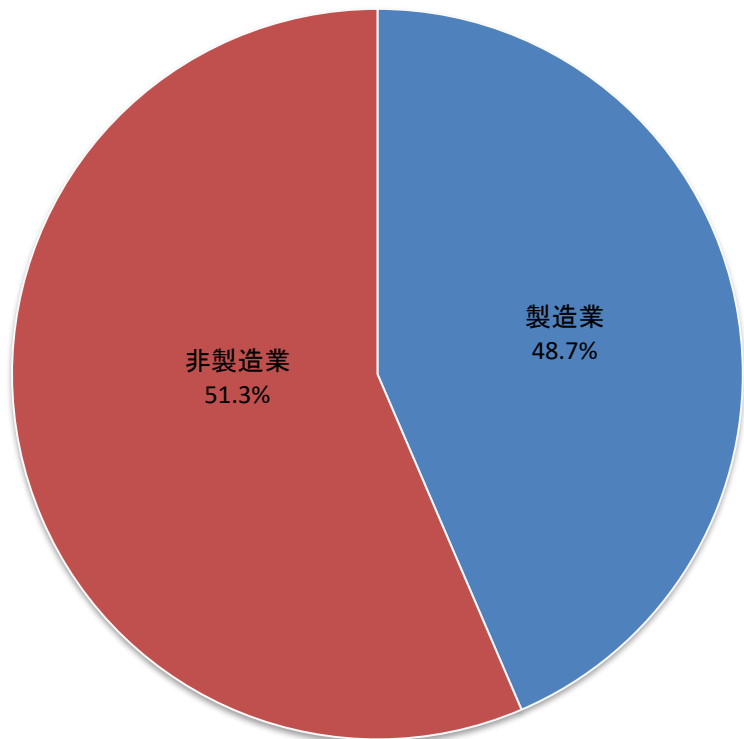
景気は緩やかに上昇基調であるが、物価高騰により原材料等の仕入価格が高止まりし、販売価格への転嫁が容易でない状況となっており、経済回復の足かせとなっている。

- (1) 今期の業況は、前回(▲25.2)から3.2ポイント減の▲28.4となり、減少傾向を示したものの、コロナ禍前とほぼ同水準を維持している。「生産・売上」が前回(▲13.9)から18.8ポイント減の▲32.7、「採算状況」が前回(▲25.2)から14.4ポイント減の▲39.6となり、経済は下振れ基調であることが伺える。「仕入れ価格」が前回(72.2)から4.4ポイント増の76.6、販売価格が前回(36.5)から6.0ポイント減の30.5となっており、物価高騰の影響により依然として仕入れ価格は高止まりしている。一方で販売価格は上昇しておらず収益確保に安定さを欠いている。
- (2) 来期の業況は、今期(▲28.4)から3.4ポイント増の▲25.0となった。「生産・売上」は、今期(▲32.7)から20.6ポイント増の▲12.1、「採算」は今期(▲39.6)から9.0ポイント増の▲30.6、「受注状況」は、今期(▲28.4)から14.5ポイント増の▲13.9となるなど、雇用関係の値を除き、改善を予想している項目が多くなっている。懸念される事項として、仕入価格を販売価格に転嫁できない傾向が見られる。
来期も今期同様の傾向が続くと見られるが、受注状況、生産・売り上げなど増加見込みが多いことから、緩やかではあるが景気は上向いていることが伺える。

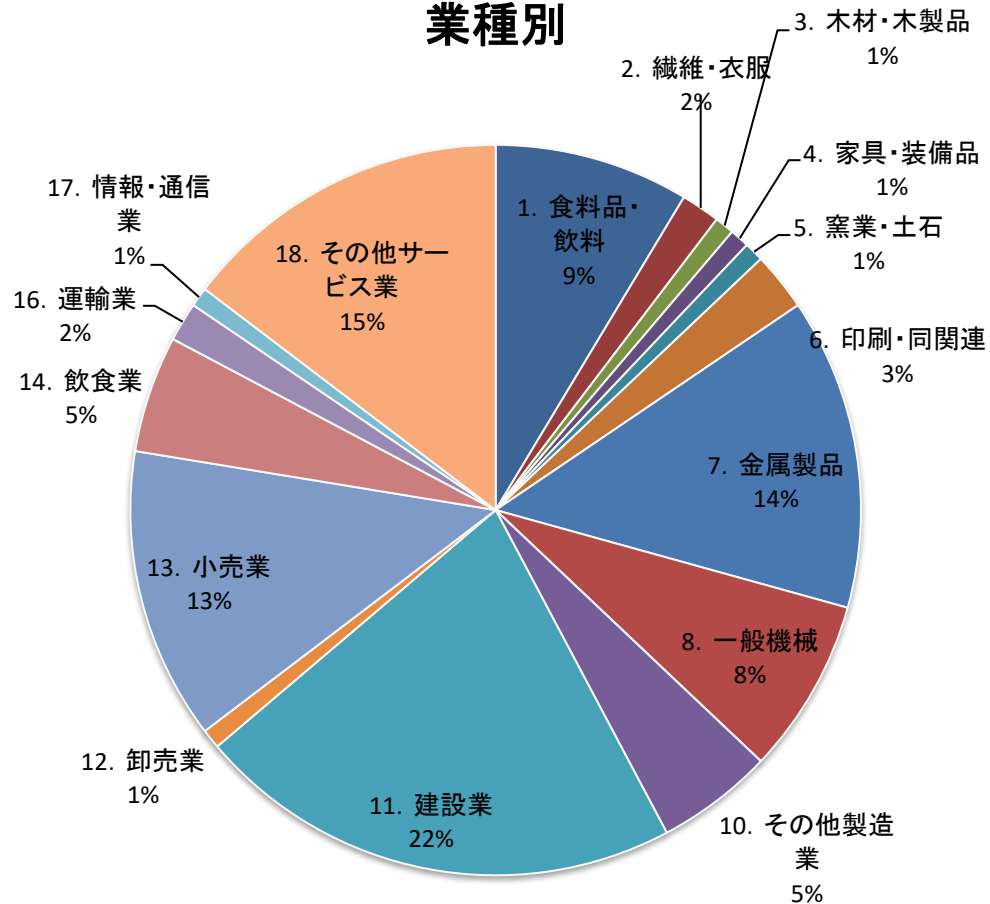
3.アンケート調査の結果①

回答事業所内訳

製造業・非製造業別

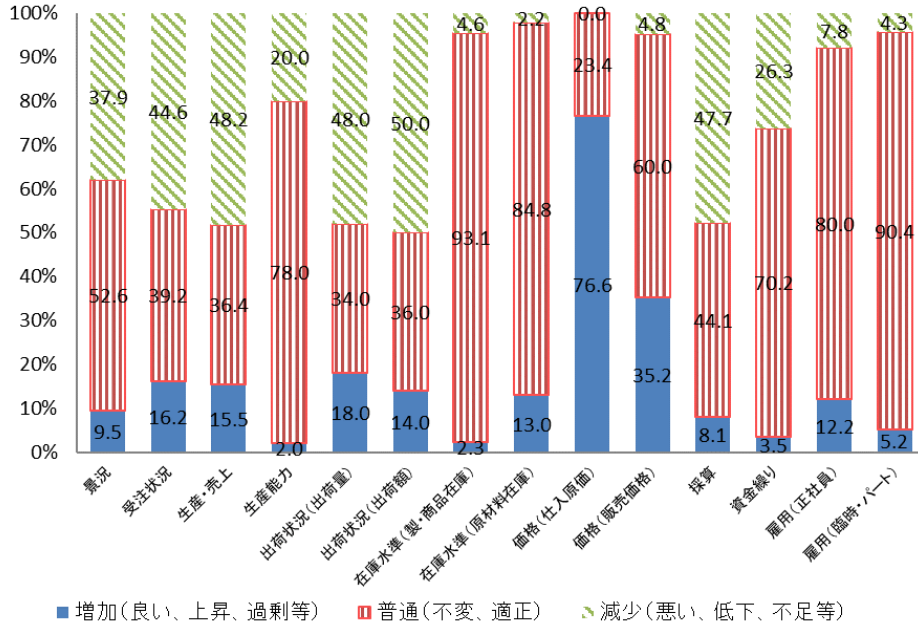


業種別

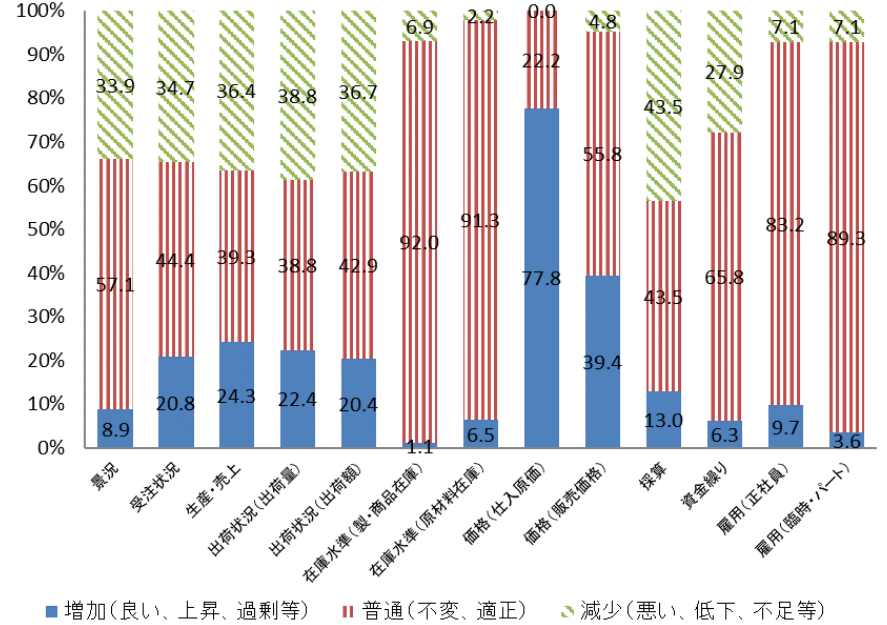


3.アンケート調査の結果②

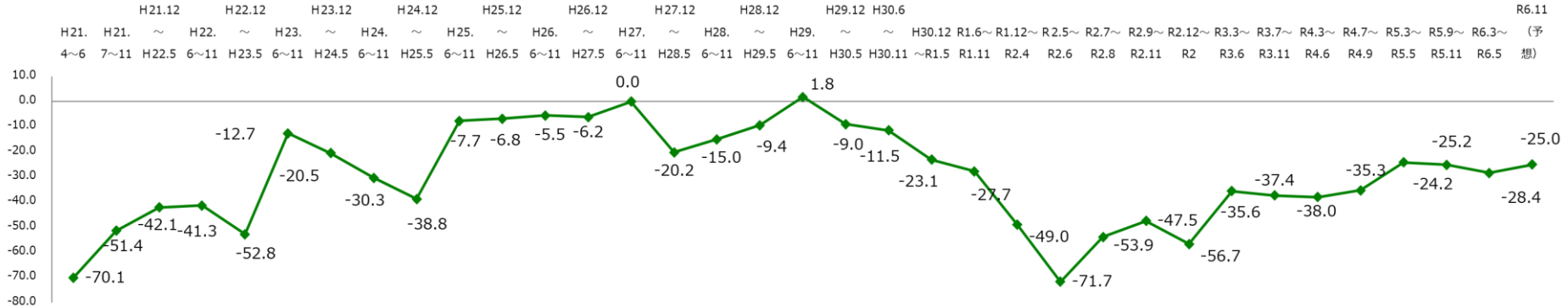
今期(令和6年3月～令和6年5月)



来期予想(令和6年6月～令和6年11月)



調査開始からの業況D.I.の推移



3.アンケート調査の結果③

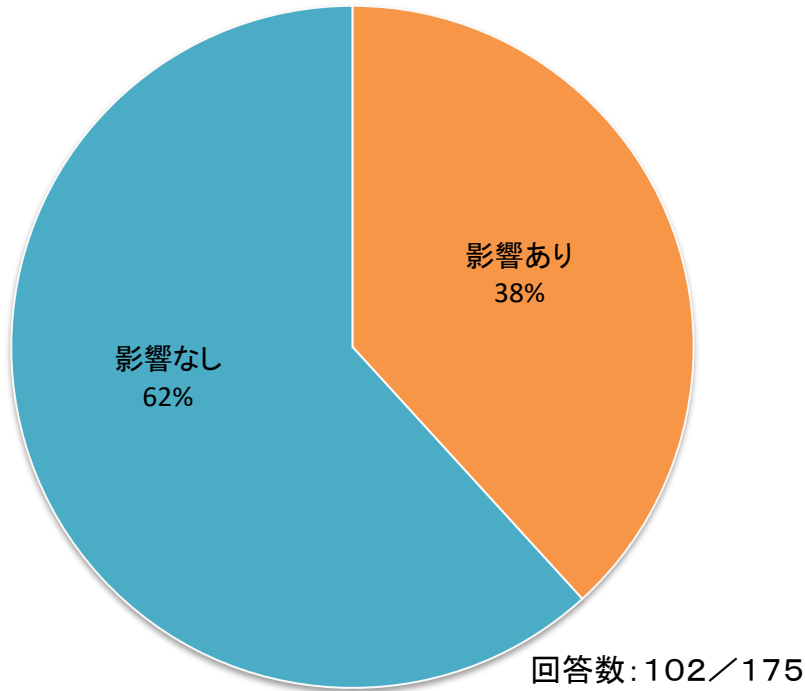
高島町景況調査(DI)から見た景気情勢推移(令和6年6月調査)

※DI(ディフュージョン・インデックス)・・・「増加(良い・上昇・過剰等)」-「減少(悪い・低下・不足等)」の値

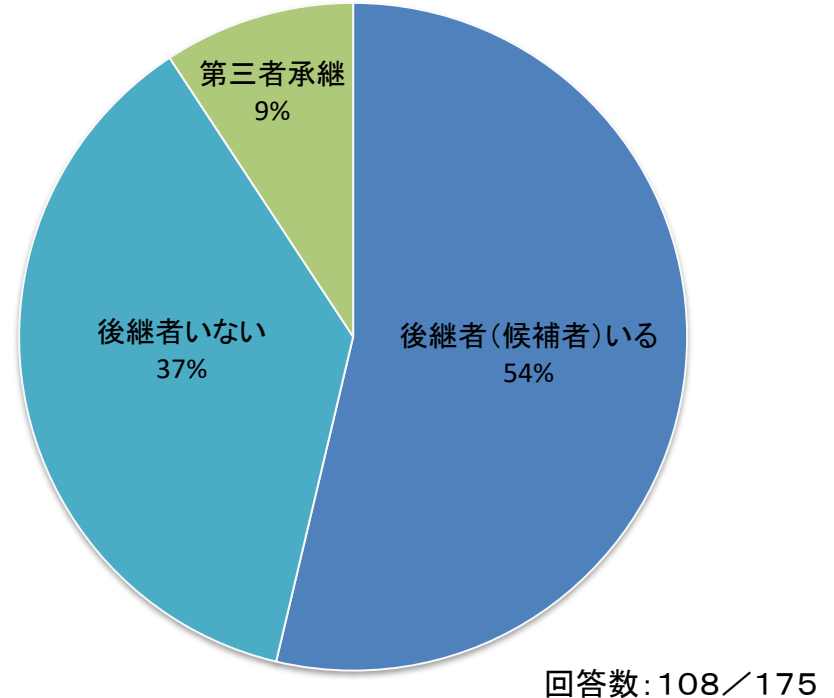
No.	調査項目	今回調査分															
		H30.6~ 30.11月期	H30.12~ R1.5月期	R1.6~ 11月期	R1.12~ R2.4月期	R2.5~ R2.6月期	R2.7~ R2.8月期	R2.9~ R2.11月期	R2.12~ R3.2月期	R3.3~ R3.6月期	R3.7~ R3.11月期	R4.3~ R4.6月期	R4.7~ R4.9月期	R5.3~ R5.5月期	R5.6~ R5.11月期	R6.3~ R6.5月期	R6.6~ R6.11月期 予想
1	業況 「良い」-「悪い」の指数	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 27.7	▲ 49.0	▲ 71.7	▲ 53.9	▲ 47.5	▲ 56.7	▲ 35.6	▲ 37.4	▲ 38.0	▲ 35.3	▲ 24.2	▲ 25.2	▲ 28.4	▲ 25.0
2	受注状況 ※製造業・建設業 「増加」-「減少」の指数	▲ 6.4	▲ 25.3	▲ 29.6	▲ 56.9			▲ 49.4		▲ 17.1	▲ 13.0	▲ 12.3	▲ 22.9	▲ 10.5	▲ 17.4	▲ 28.4	▲ 13.9
3	生産・売上 「増加」-「減少」の指数	▲ 6.7	▲ 23.9	▲ 33.0	▲ 52.0	▲ 75.0	▲ 59.4	▲ 47.5	▲ 56.0	▲ 29.6	▲ 22.8	▲ 18.0	▲ 26.3	▲ 15.3	▲ 13.9	▲ 32.7	▲ 12.1
4	出荷状況【出荷量】 ※製造業 「増加」-「減少」の指数	▲ 7.8	▲ 35.1	▲ 42.9	▲ 55.1			▲ 51.6		▲ 8.9	▲ 8.1	▲ 0.8		▲ 6.5	▲ 12.2	▲ 30.0	▲ 16.3
	出荷状況【出荷額】 ※製造業 「増加」-「減少」の指数	▲ 13.7	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 59.2			▲ 55.7		▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 3.3		▲ 4.8	▲ 6.1	▲ 36.0	▲ 16.3
5	在庫水準【製・商品在庫】 「過剰」-「不足」の指数	1.0	3.4	2.7	6.0			0.8		1.5	▲ 7.3	0.0		5.6	▲ 0.9	▲ 2.3	▲ 5.7
	在庫水準【原材料在庫】 ※製造業 「過剰」-「不足」の指数	11.8	5.3	4.1	14.3			▲ 1.7		0.7	▲ 7.3	▲ 1.6		4.8	1.7	10.9	4.3
6	価格【仕入価格】 「上昇」-「低下」の指数	48.1	37.6	37.5	10.0			17.2		50.4	65.9	77.0	78.2	76.6	72.2	76.6	77.8
	価格【販売価格】 「上昇」-「低下」の指数	12.5	5.1	0.0	▲ 16.0			▲ 11.5		0.0	8.1	29.5	34.5	35.5	36.5	30.5	34.6
7	採算 「好転」-「悪化」の指数	▲ 17.3	▲ 19.7	▲ 25.9	▲ 45.0			▲ 50.0		▲ 37.0	▲ 34.1	▲ 34.4	▲ 41.2	▲ 32.3	▲ 25.2	▲ 39.6	▲ 30.6
8	資金繰り 「好転」-「悪化」の指数	▲ 9.6	▲ 8.5	▲ 16.1	▲ 36.0	▲ 35.9	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 39.3	▲ 18.5	▲ 23.6	▲ 19.7	▲ 26.9	▲ 21.8	▲ 13.0	▲ 22.8	▲ 21.6
9	雇用【正社員】 「増加」-「減少」の指数	▲ 1.0	2.6	▲ 1.8	1.0			▲ 4.9		0.0	▲ 9.8	4.9		▲ 0.8	▲ 4.3	4.3	2.7
	雇用【臨時・パート社員等】 「増加」-「減少」の指数	1.0	1.7	▲ 3.6	▲ 5.0			▲ 1.6		▲ 1.5	3.3	3.3		1.6	0.9	0.9	▲ 3.6

3.アンケート調査の結果④

運送・建設業界の2024年問題
の影響について



事業承継について



※上記の回答中「影響あり」の内容等は、9ページに記載。

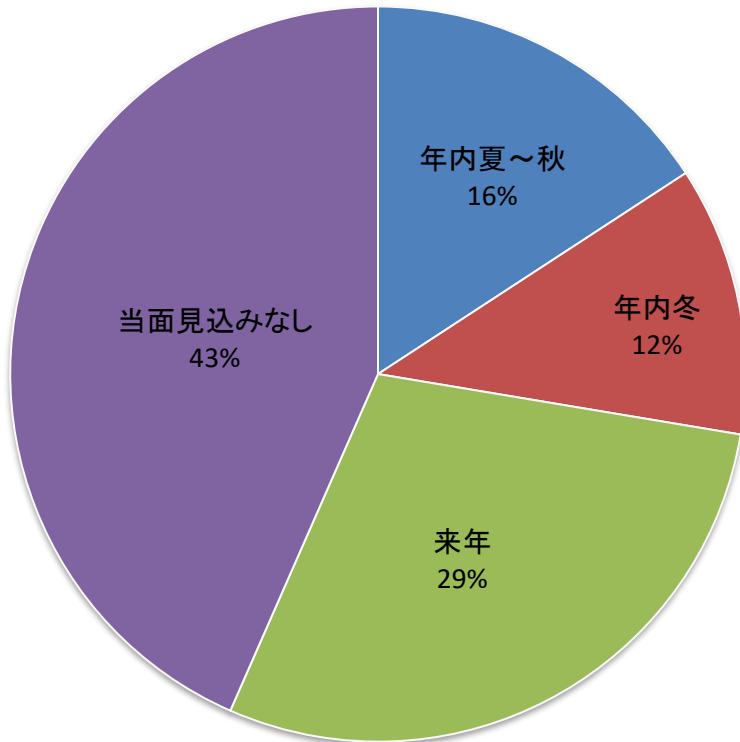
参考: 運送業・建設業界2024問題

働き方改革により、令和6年4月から運送業や建設業など、時間外労働時間の上限が設定されました。これにより、労働者の働き方が改善される一方で、多方面に渡って様々な影響が生じてくることが懸念されています。

3.アンケート調査の結果⑤

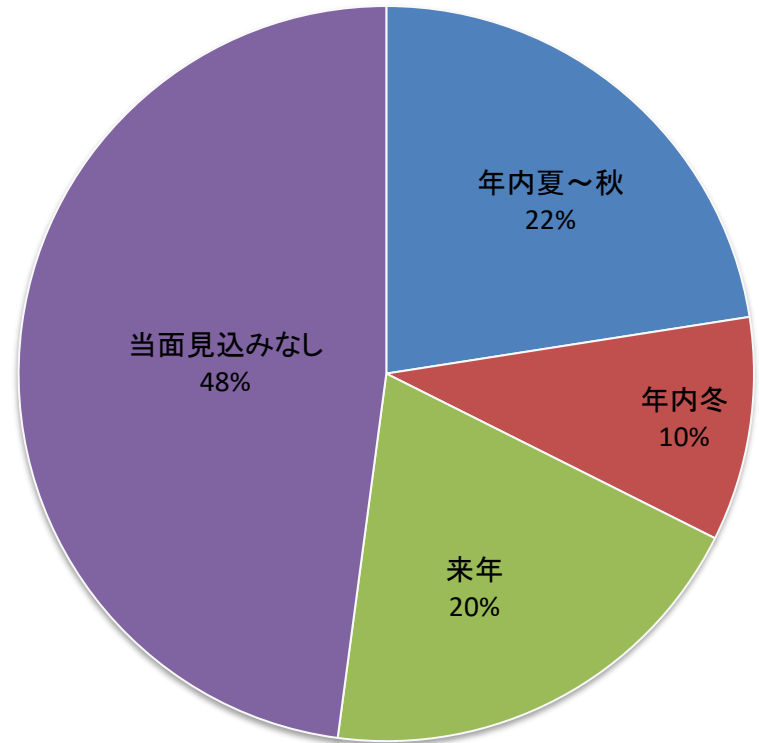
業況の好転を見込んでいる時期について(前回比較)

令和5年12月調査時(見込み)



回答数:74/175

令和6年6月調査時(見込み)



回答数:71/175

※ 運送・建設業の2024問題で生じている事項(懸念される)事項

内 容	<ul style="list-style-type: none">◆依頼価格上昇 ◆(会社の)成長の機会の減少 ◆得意先の納入希望日に応えられないことがある◆配送コストの上昇 ◆(建築資材等の)納品が遅れることによる建築の延期が懸念される◆運賃の加算 ◆資材・重油等、運送費の値上げ ◆発注の締め切りが早くなった ◆人材不足◆公共工事の週休2日 ◆工期調整や人件費増等 ◆材料運搬費用が今後負担増の見込み◆仕入れ価格に送料が追加された ◆配送が遅くなり在庫管理が難しくなった◆今後郵便物の値上がりによりDM(ダイレクトメール)の回数を減らさなくてはならない◆入荷の時間(の変更、変動) ◆作業日数の減少(による影響) ◆時間外労働の規制◆(結果的に)顧客が影響を受ける◆発送の時間が前倒しされているので、以前より早く準備しなければならなくなった。
-----	--